



平成26年度
「小さな拠点」づくりフォーラム

長野県 喬木村

小さな村だからこそ
できること

モニター調査後1年目の取り組みについて

喬木村（天竜川と河岸段丘）



喬木村の現状 1



飯田市

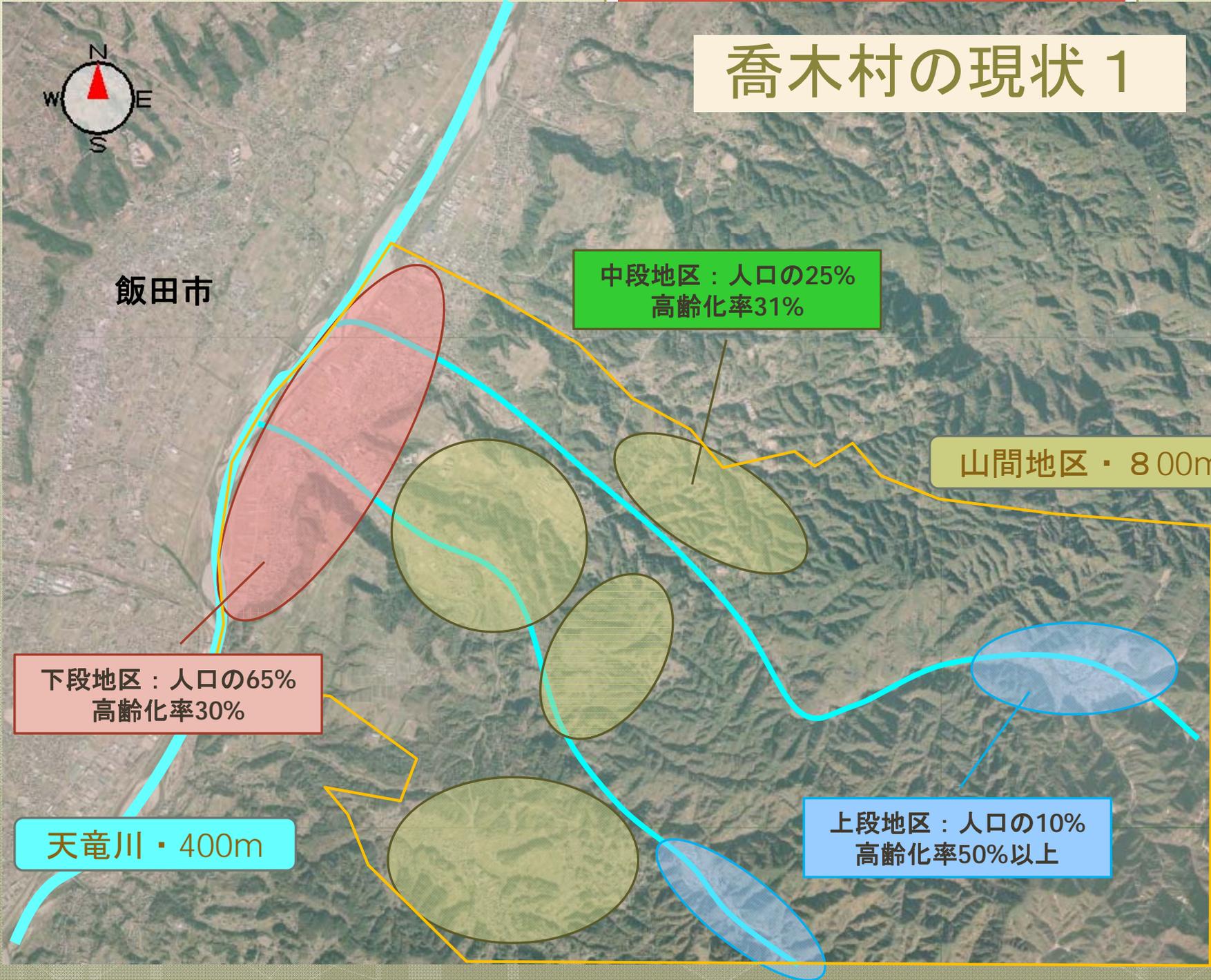
中段地区：人口の25%
高齢化率31%

山間地区・800m

下段地区：人口の65%
高齢化率30%

天竜川・400m

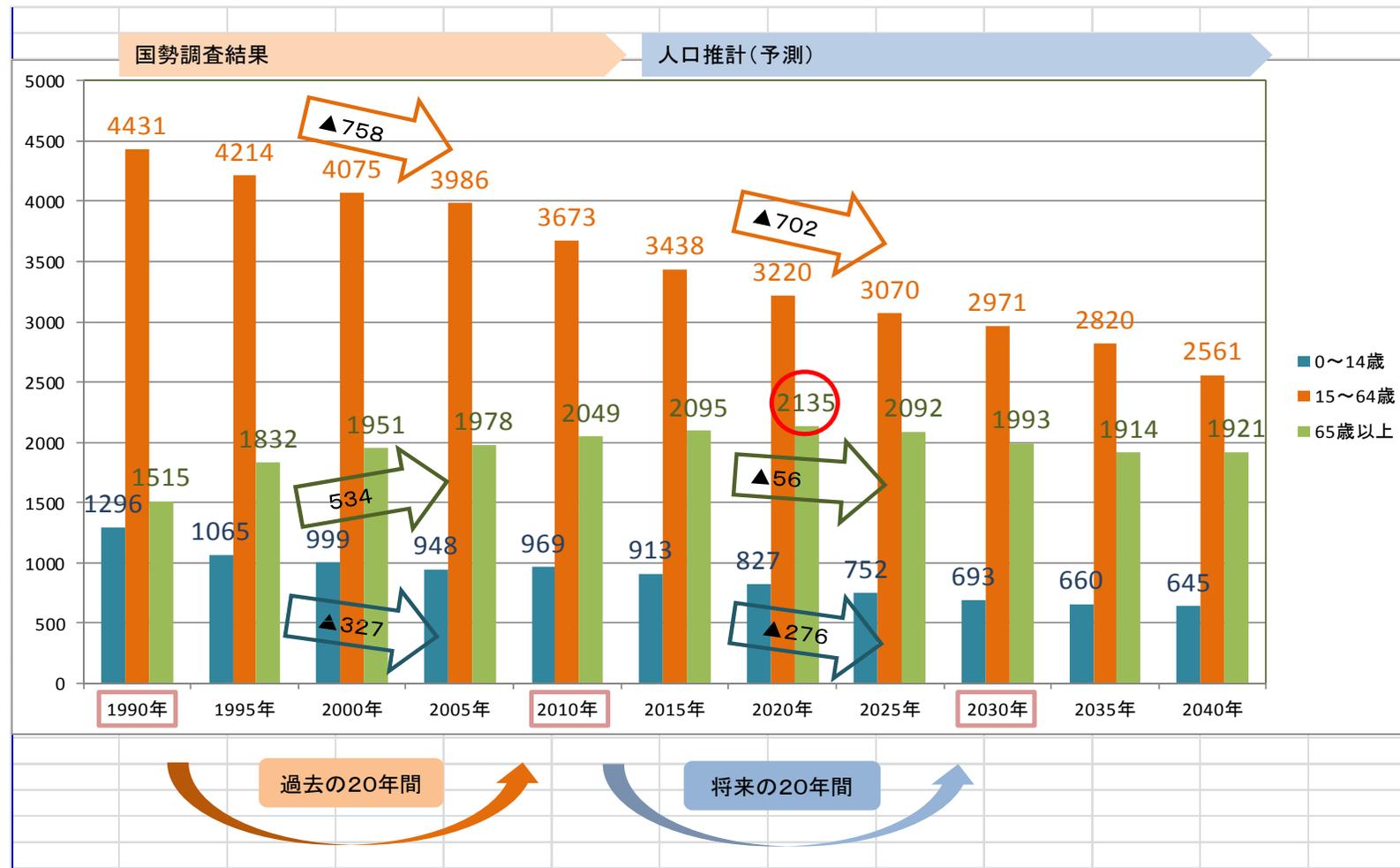
上段地区：人口の10%
高齢化率50%以上



喬木村の現状 2

喬木村の人口推移と将来人口予測

: 国立社会保障・人口問題研究所 (2010国勢調査推計)



村施策の継続と新たな取り組み

定住促進

- ・ 宅地取得、住宅新築 補助金
- ・ リフォーム、空き家改築 補助金
- ・ 小中学校隣接地へ宅地分譲
- ・ 小規模小学校エリアへ若者住宅建設

子育て支援

- ・ 出産祝い金
- ・ 高校生まで医療費無料
- ・ 保育料軽減

日本創成会議

2040年
896自治体
消滅

喬木村

若年女性
人口変化率
△36.9%



持続可能な
村づくりへ
新たな取り組み

「小さな拠点」づくり

喬木村の拠点位置



○ 高校（5校）

広域バス循環線
広域連合・定住自立圏

○ JR飯田線駅（2駅）
高速バス乗り場
（新宿・名古屋・長野）

○ 拠点病院を含む
4病院

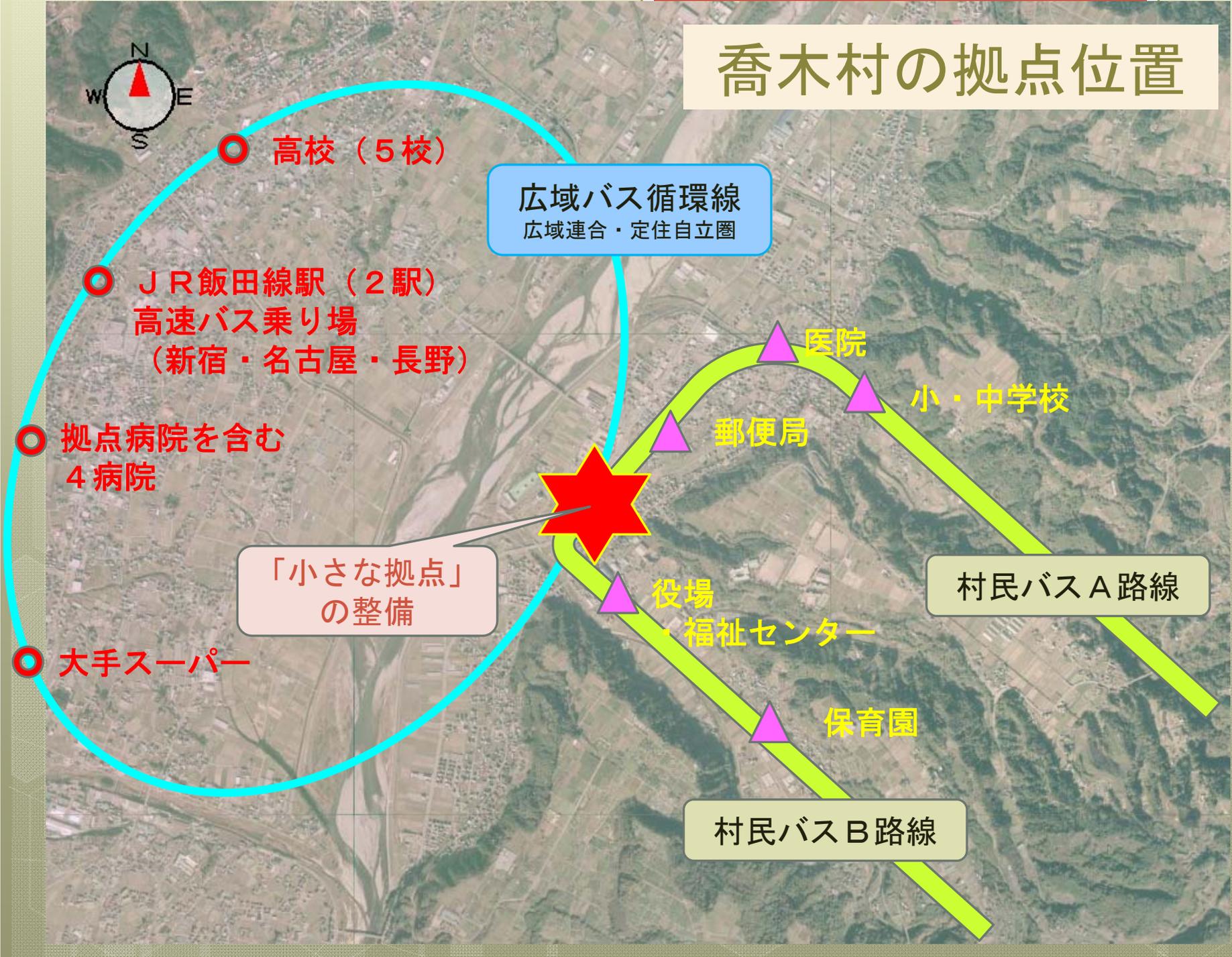
「小さな拠点」
の整備

○ 大手スーパー

医院
小・中学校
郵便局
役場
福祉センター
保育園

村民バスA路線

村民バスB路線



拠点内の既存施設

農村交流センター



JA園芸センター



Aコープたかぎ店



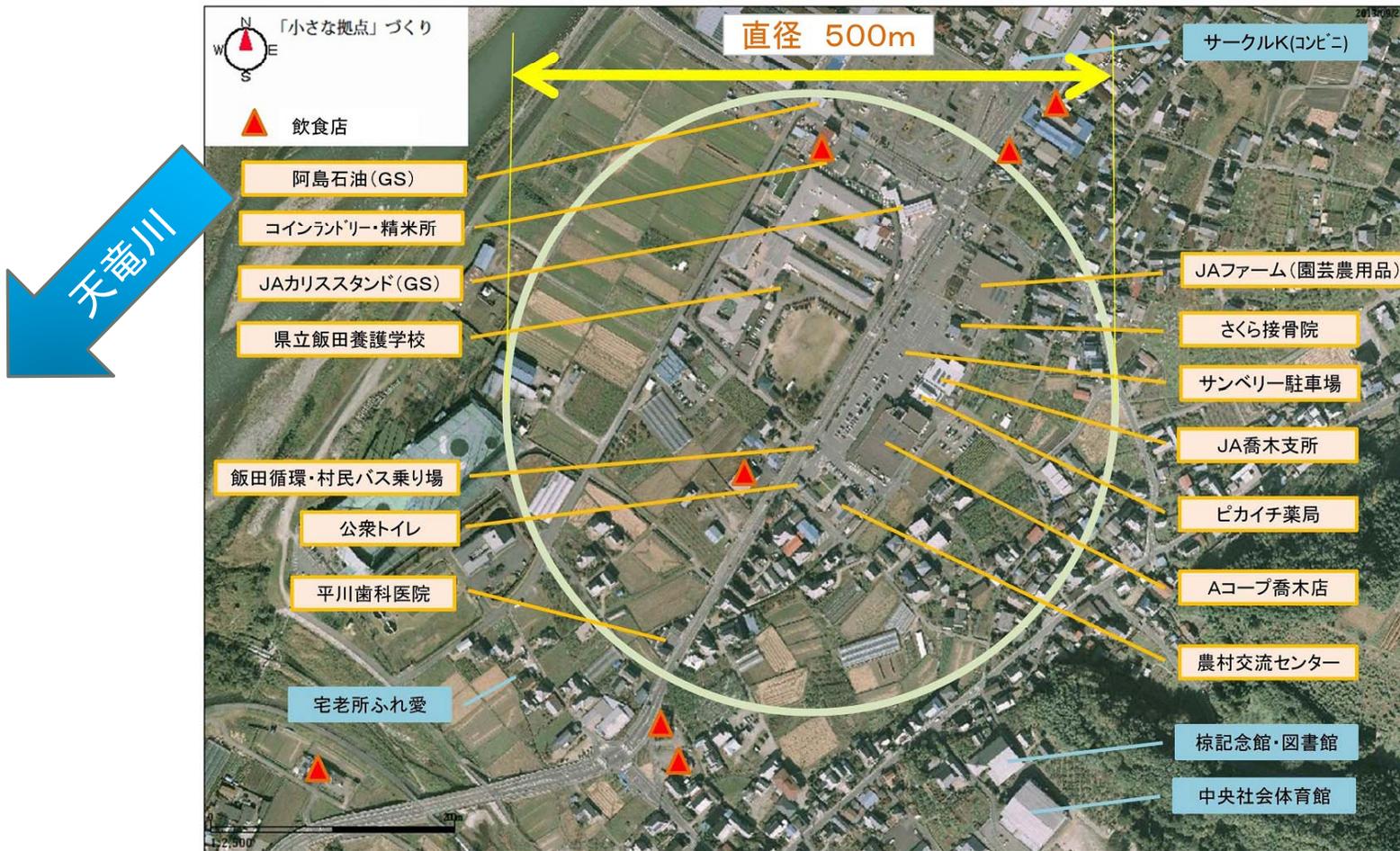
薬局



農協喬木支所



「小さな拠点」の現況



モニター調査での取り組み

基礎調査

- ・ 村内主要施設の移動手段調査 （5箇所 * 各100件）
- ・ 75歳以上の独居、老老世帯の生活状況聞き取り調査
（156世帯）
- ・ 先進地事例調査 （新潟県上越市・安塚地区）

講演

- ・ 講師：藤山 浩 先生
「地域の結び目をどう創る～決め手は合わせ技」
（参加者：75名 検討委員、一般住民）

検討会

- ・ 検討委員会（委員29名）の開催 （8回）
（委員会その他、アンケート等による意見集約）
- ・ 幹事会（委員5名・事務局3名）の開催 （9回）
（検討委員会での意見まとめ、方向性確認）

検討委員会の提案 1（拠点機能集約）

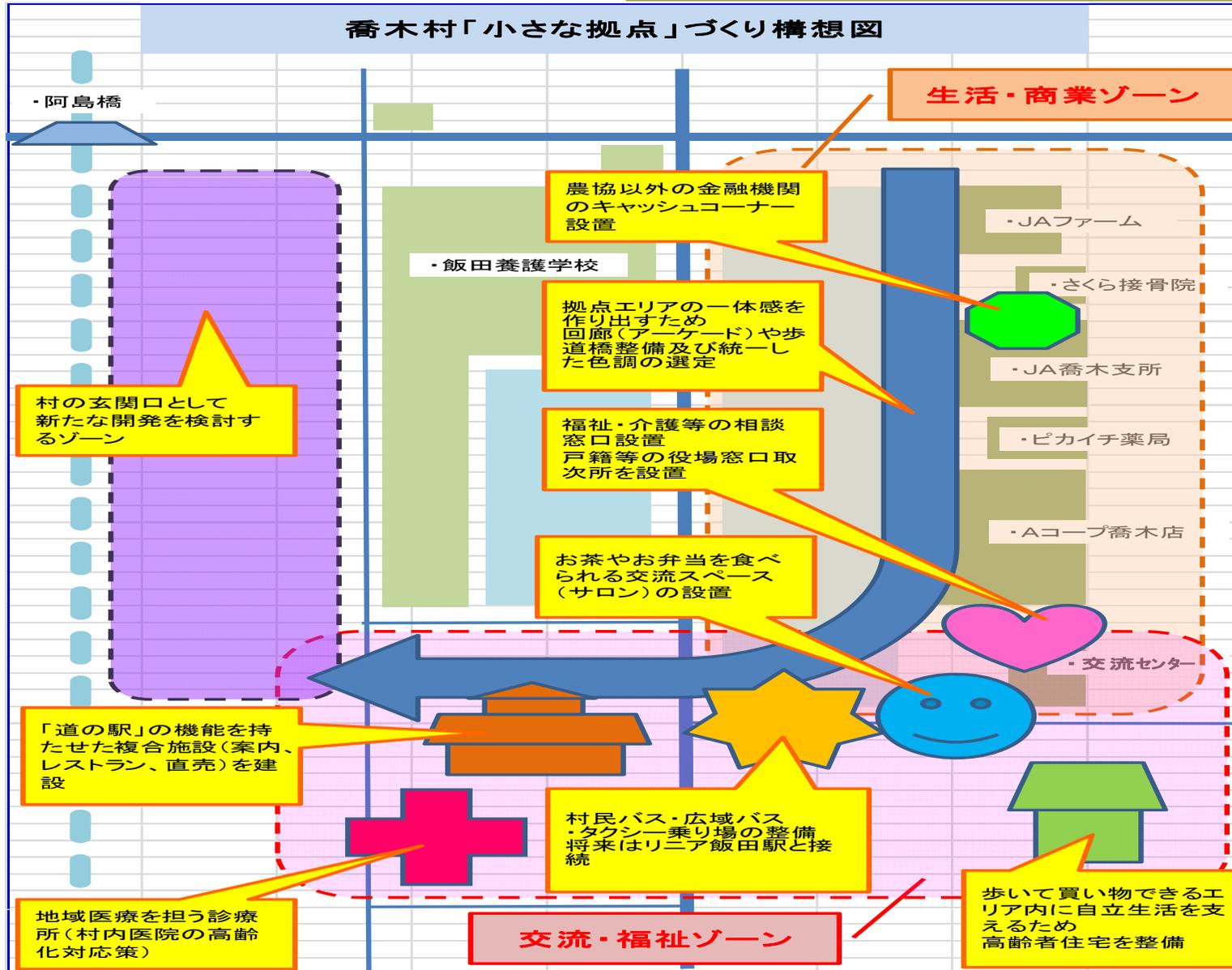
既存施設活用

- ・ 食事、休憩ができるスペース
- ・ 役場、福祉相談の窓口
- ・ 各種金融機関のキャッシュコーナー
- ・ タクシー乗り場、バスの待合所
- ・ イベント、トラック市等の広場

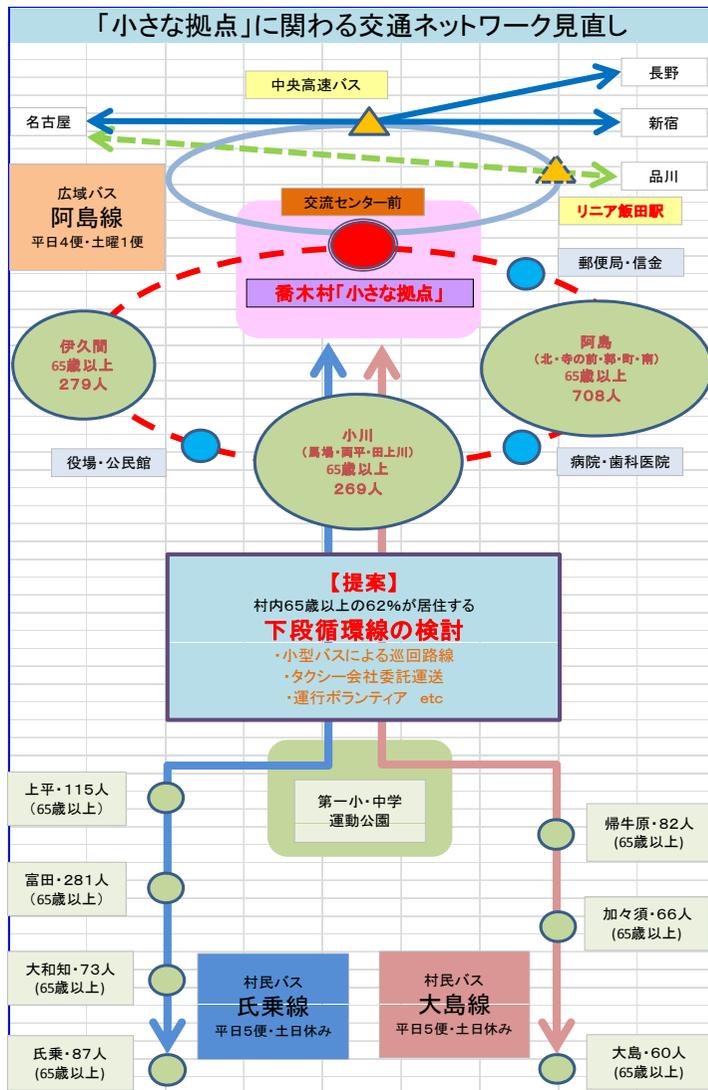
新たな施設

- ・ 日常生活を行える高齢者のための住宅
- ・ 村の診療所（村内医師高齢化に備え）
- ・ 複合交流施設
（農家レストラン・直売所・観光案内所）

喬木村「小さな拠点」づくり構想図



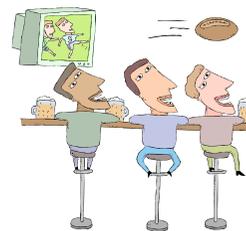
検討委員会の提案 2 (移動手段・居場所)



各地区の
「日だまりサロン」

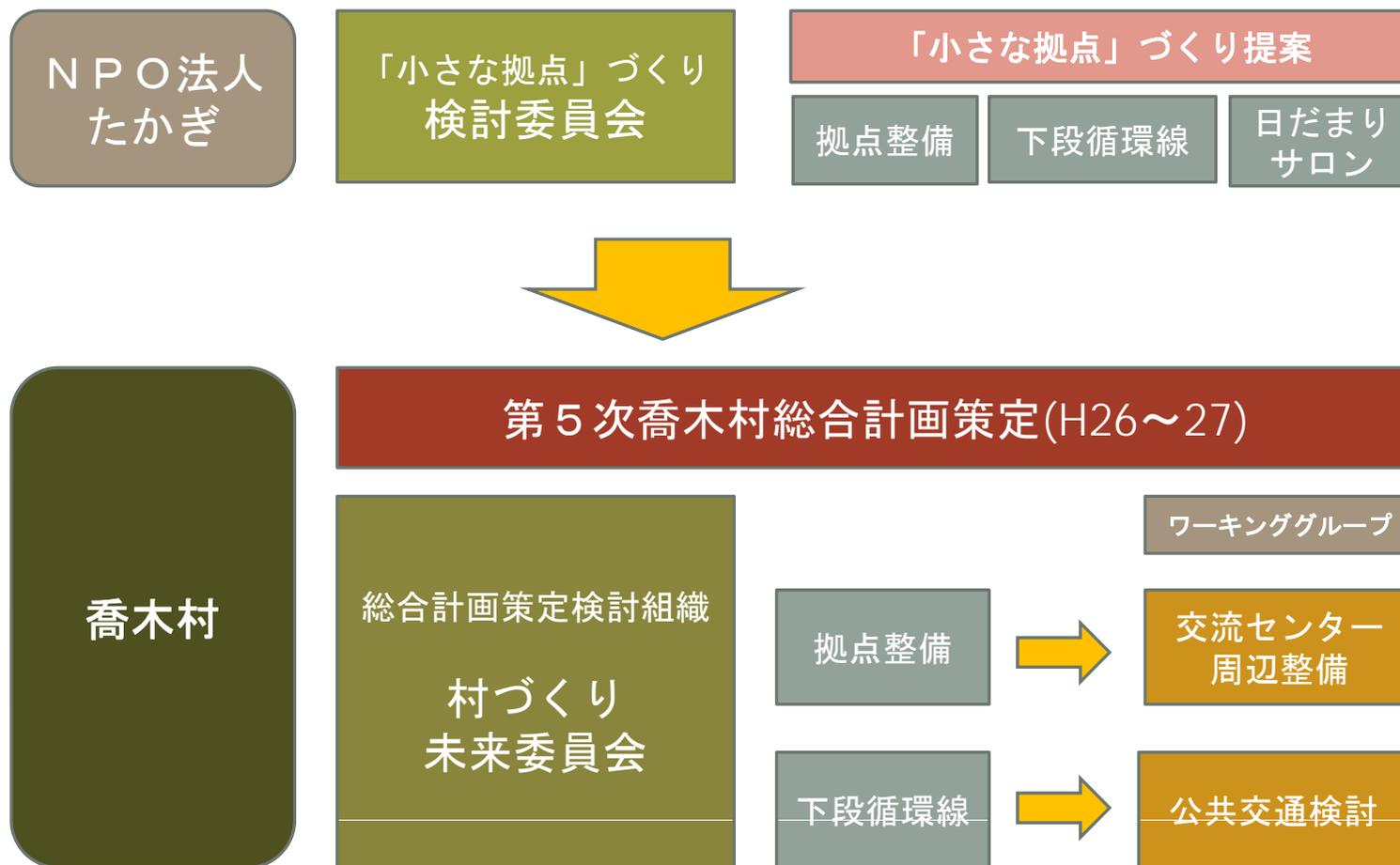


【現状】
バス乗り場に隣接した地区集会所
ミニディサービスなどに利用され
ているが、いつもは無人の施設と
なっている



【提案】
村民バス乗り場の隣接施設に
地域住民の集う「日だまりサロン」を併設
・気軽に集まれ、そこに行けば誰かがいる
仲間と話をしたり、お茶を飲んだりできる
「井戸端会議」の場所としても利用できる
そんな村民バス乗り場を各地に整備

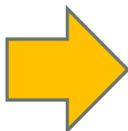
小さな村だからこそ できること



計画の実現に国・県 支援制度活用

交流センター
周辺整備

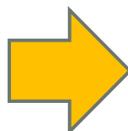
日だまり
サロン



国土交通省
都市再生整備計画事業
(H26~28)
※ 提案事業

計画検討
+
外部
支援業者
+
実施計画

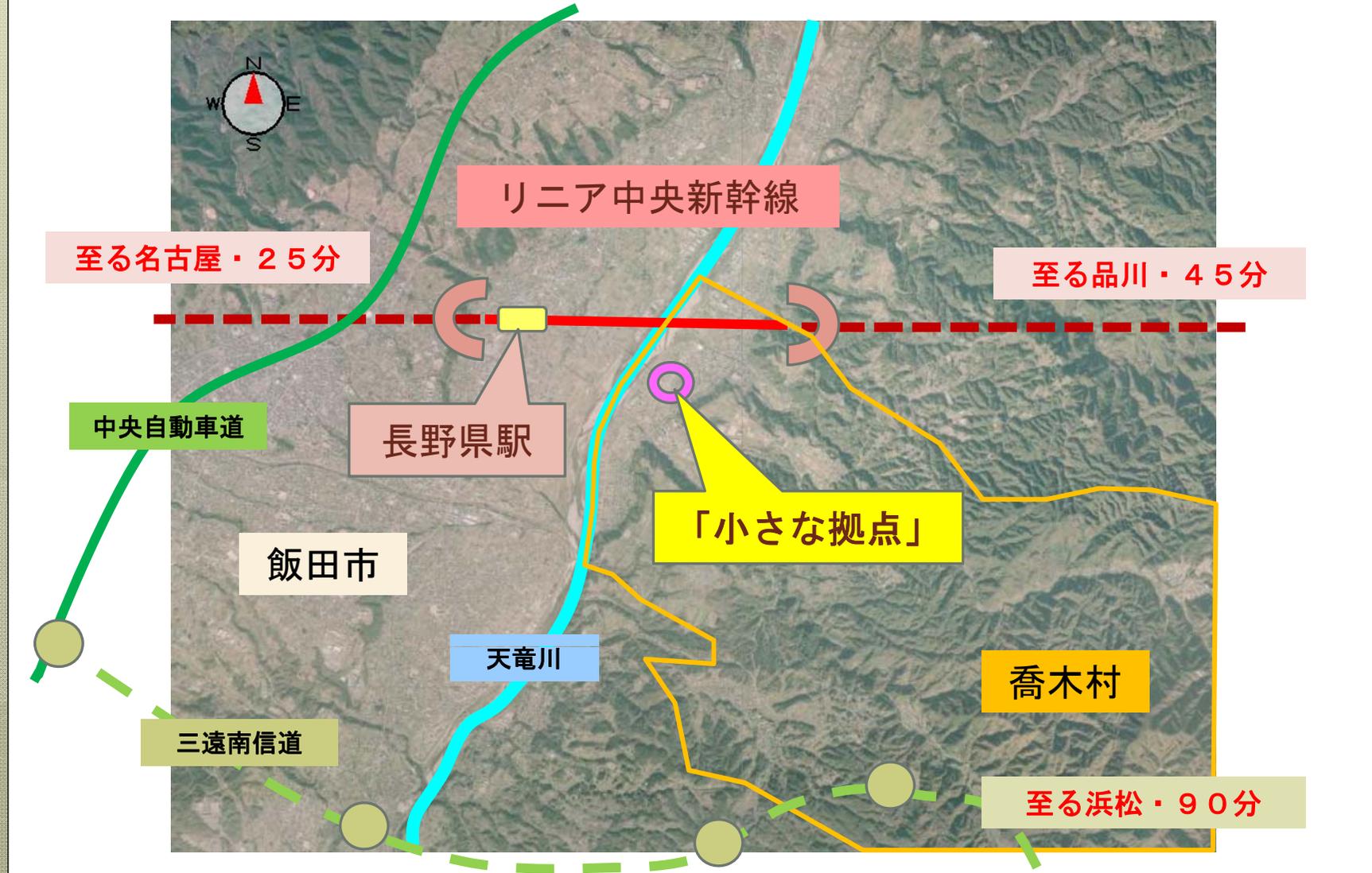
公共交通検討



長野県
地域交通システム
再構築推進モデル事業
(H26~27)

路線検討
+
車両購入
+
試験運行

大都市近接を明日の地域づくりに



持続可能な村づくりへ向けた工程



長野県・喬木（たかぎ）村

